

2010.04.12. 18:30～(北海道大学原子核理論研究室)

1: 出席者

加藤^a・千葉・能登・片山・平林^b・松本^c・古立^c・牧永^c・椿原^{c,d}・Ichinkhorloo^c・村上^c・吉田^c
(a:委員長, b:議長, c:オブザーバー, d:書記)

2: 報告

- RIKENとの協力協定の状況:3/25 北大理学研究院長とRIKEN 長田さん間の会談
 - 包括連携の前に理学部との協定から開始する(我々の他に数学、科学、生命 6月開始)
 - 6月にシンポジウム開催を計画
- VBL 研究員:4月からの研究員→松本、牧永、古立、
VBL 招聘研究員:T.Neff(GSI、8月)
加藤の任期が本年度中→その後任の人選をする必要がある。
RIKEN 核データ研究員:椿原
 - RIBFで生産される核データの採録方法及び、将来的にはJ-PARCとの関係も視野に入れたフォーマット作り
- 岩本、松田、伊藤(JAEA):3/30にPHITS(放射線シミュレーションコード)のCM及び我々の核データ活動のリサーチ

3: 議題

- NRDC2010の当日の運営形態
 - NRDCプログラム(吉田配布)の説明
 - 開会式の司会(議長の選出まで)?→大塚氏に確認
 - Chairparson: Dunaevaが日程中すべて勤めると思われる。
 - 運営委員の参加動向
→メールで吉田に送信、Banquetは全員参加
 - エクスカーションは小樽に変更: 小樽貴賓館(食事を含む)、小樽市内観光
Dunaevaを含むロシアの方々は途中で(~16:00)小樽駅までバスで送る
 - ゲストを連れた夕食
ジンギスカン→羊ヶ丘ビール園(15人以上なら送迎有)
寿司→花まる時計台店
その他の候補→きやら亭(北大構内)
 - Banquet:司会を能登さんをお願いした(~17:00に会場入り)
 - Activity report(複数年度にわたるセンター紹介)
Annexの反映(加藤、片山、大塚、椿原)
 - Progress report(今年度の成果)

- Working paper
 - XML化について内容に盛り込むか?盛り込むべきだが時間があるか?
- 管理運営委員会に木村真明、平田雄一の二名を追加を提案(加藤)→承認
- 新規データの EXFORでの番号が決まる前に登録する際のナンバリングについて
 - EXFORとの整合性をとるため大塚が今まで登録作業を行っていた
 - NRDF 独自の採録対象へどのようにナンバリングを行えばいいか?(村上のスク립ト開発がそこで停止)
 - 大塚氏との連絡を密にする
- NRDFにおける新規登録コードの承認
 - ベクレル[Bq](後ほどコード記入)をV14に仮登録→承認
- JCPRGのロゴマーク(村上)

次回開催予定日時 2010年5月10日(月) 18時30分～

次回開催予定場所 北海道大学原子核理論研究室